

1 計画（前期）の評価方法について

(1) 評価の目的

- ・計画（前期）のよかったところを明確化
- ・計画（後期）にむけて足りないところを明確化

→点数や良し悪しをつけるのではなく、「次につなげる」ための評価を行う

→最終的には、委員会として市長に「提言」として計画の中間評価を提出する。

(2) 評価の手法

定量的ではなく、定性的に評価を行う。

(3) 評価の対象

評価の対象は、芸術文化振興計画推進事業及び庁内の関連事業。

(4) 評価の視点

評価の対象となる芸術文化振興計画推進事業及び庁内の関連事業について

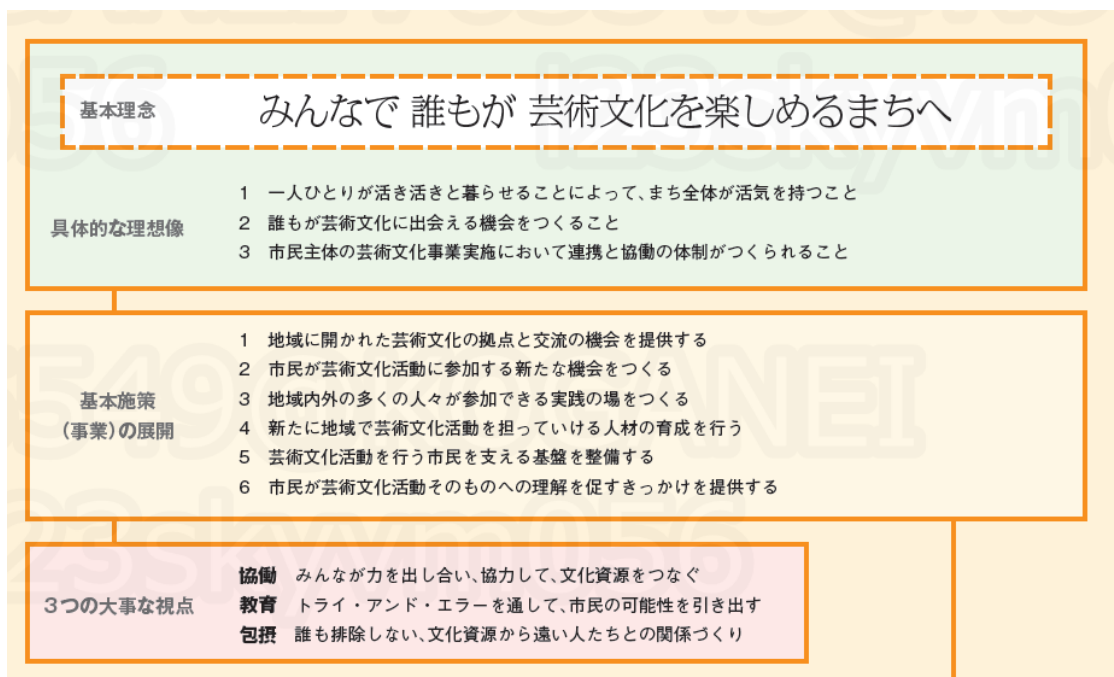
視点① 計画で決めたことは実現できたのか・挑戦できたのか（※）

視点② 実現できなかったこと・挑戦できなかった理由は何か

視点③ 推進委員会として、後期に向けた提言に盛り込みたいことは何か

（※）計画で決めていたこと…計画26p参照

前期は基本施策の(1)～(3)を実施することになっている。



(5) 評価の元となる意見の集め方について

フォーラムやこれまでの事業のアンケート結果もあるが、より意見を集めるため、「100人の声を聴こう」と題して、意見を収集する。

・STEP 1 100 人の声を聴く

①推進委員、②市民、③その他（検討中）、①～③の人々、計 100 人の声を聴く。

※100 人の声の収集方法は、以下「2 100 人の声の収集方法について」にて記載。

・STEP 2 委員会にて評価

あつめた 100 人の声を、委員会にて、計画（前期）の評価を行う素材として活用する。

・STEP 3 提言として中間評価をまとめる

最終的には、委員会として「前期計画の評価と後期に向けて（案）」提言をまとめる。

2 100 人の声の収集方法について

2025 年 8 月 23 日に実施される「まちはみんなのミュージアム—ユニバーサルアートフェス—」にてヒアリングを実施する。

ヒアリング【100 人の声を聴く】

①フェスの会場内にボードを設置して、設問に答えてもらう

→こちらは該当する回答にシールを貼ってもらう、簡易的なアンケート形式。

②フェスの会場に机と付箋とを置いて、ちょっと座って回答できるスペースを設置して設問に答えてもらう。

→こちらは少し考えて、文字にして答えてもらう形式。

③アートフェス・カフェ

日時：23 日午後（※時間調整中）

参加者：10～15 名程度。

内容：時間を決めてマルパ D でカフェ形式の休憩スペースを設置。

そこで展示されている作品を見ながら、今日のフェスに参加した人、見に来た人が交流できるスペースをつくる。

④アートフェス・フォーラム

フェスのクロージングフォーラムとしての意義も込める。

フェスに参加している団体、フェスを見に来てくれた個人、だれでも参加可能。

「来て観て楽しかったね」からより一歩、どんな理由でこのイベントを実施したのか、どんな思いで普段の活動をしているのか、出会って対話することでフェスを通じて互いを「知る」きっかけをつくる。

【①～④であつめたい声】

①～③のアンケートやボードでは、全体の傾向や統計につながる情報や意見。

④のクロージングフォーラムで集めたいのは、よりアートに関わっている人々の情報や意見。

【実施について】

①、②については事務局（小金井市）・アートフルアクションで準備・実施いたします。

③、④については、ファシリテーターを斎木柊志さんをお願いしています。

斎木柊志さん：私立校教員。昨年度の市芸文フォーラムも担当。

今日の日常化したワークショップのあり方を、実践者の実践経験の振り返りの観点から研究。学術的価値と現場で生まれる意味の両立を探究しながら、演劇、哲学対話、まちづくり等のワークショップを実践。

※今年度、フォーラムについては単独開催せず、ユニバーサルアートフェスのなか実施する「アートフェスカフェ」「アートフェスフォーラム」の企画を代替として実施する。

委員会の皆様には、今年度はフォーラムの企画自体ではなく、今後、評価するにあたって聞いてみたい「質問」を考えていただく予定です。

※ユニバーサルアートフェスも、芸術文化振興計画推進事業であり、評価対象となる事業です。また、「質問」に対する答えを生で聞ける機会にもなりますので、ぜひお越しください。

3 今年度の委員会での評価について

上記の評価を行うにあたり、今年度の委員会は以下のとおり予定をしている。

第1回（7月30日）：評価方法の提案（市より）、市内の芸術文化資源を知る。

第2回（秋頃）：100人の声（以下(6)にて説明）をもとに計画の評価を考える①、庁内の関連事業調査結果、ホール事業報告書・美術館年報の紹介。

第3回（冬頃）：100人の声をもとに計画の評価を考える②

→その後、事務局・委員長・副委員長で意見取りまとめを実施

翌年度、第1回：提言案を承認→提言として市長に提出

4 今日の委員会で決めたいこと

今年度の委員会は「評価」を中心に行う。

その評価の元となる意見集約をフォーラムの中で実施する。

(1) 評価の視点（1(4)参照）の3つ以外に「評価の視点」を思いついたら教えてください

(2) 100人の声を集める際に、こういう質問をしてみたい（そうしたら評価の視点の○番につながるのではないか）と思う、「質問」または「質問ワード」が思いついたら教えてください。